

株式会社リンクアンドモチベーション

2016年12月期 第2四半期

決算説明会

ひとりひとりの本気がこの世界を熱くする



Link and Motivation Group



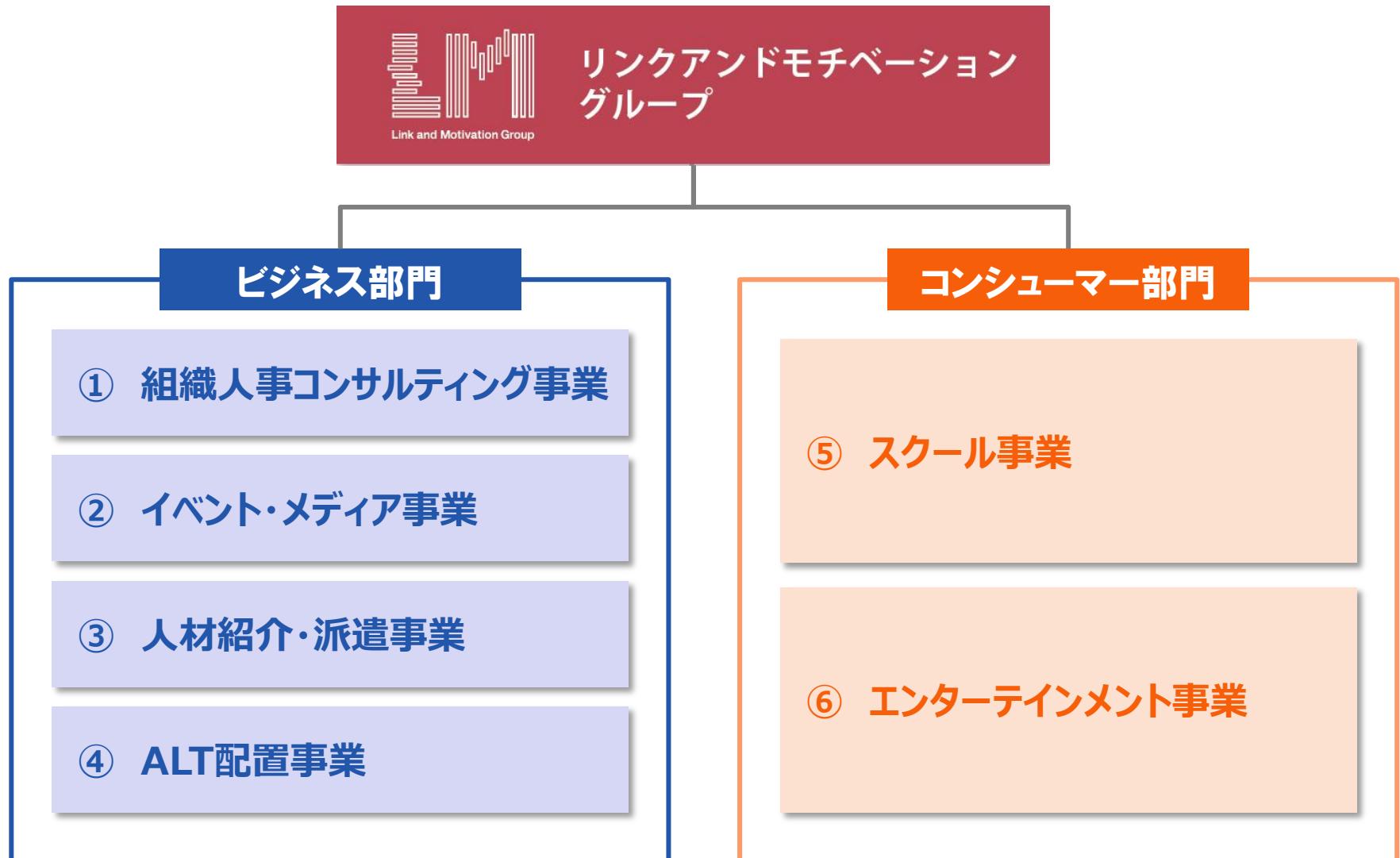
- 1. 2016年12月期 第2四半期 連結決算報告**
- 2. 「業績予想の上方修正」と「増配」のお知らせ**
- 3. 事業構造変更とTopics**

1

2016年12月期 第2四半期 連結決算報告



リンクアンドモチベーショングループ事業構造



事業構造の概要

LM-G

ビジネス部門

① 組織人事コンサルティング事業

社員のモチベーションに着目した組織人事コンサルティング
⇒組織診断、育成研修、人事制度、採用・営業コンサルティングなどを提供

② イベント・メディア事業

組織のコミュニケーションに着目したイベント企画運営・メディア制作
⇒周年イベント、採用イベント、PR・IRツール、動画配信などを提供

③ 人材紹介・派遣事業

企業の人材ニーズに対応した人材紹介・派遣
⇒新卒・中途採用の人材紹介、販売職や事務職の人材派遣などを提供

④ ALT配置事業

学校法人の教員ニーズに対応したALTの配置
⇒全国の小・中学校などへのALTの派遣・請負を提供

コンシューマー部門

⑤ スクール事業

“アイ・カンパニーを育む”をコンセプトにしたスクール運営
⇒PCスクール「AVIVA」、資格スクール「DAIEI」等のキャリアスクール運営、
学習塾「モチベーションアカデミア」の運営

⑥ エンターテインメント事業

個人の“生きがい創出”をコンセプトにしたエンターテインメントの提供
⇒バスケットボール球団「リンク栃木ブレックス」の運営、
レストラン「リンクダイニング」の運営

連結損益計算書（実績 前年比）

単位(百万円)	2015年 実績	2016年 実績	前年比
売上高	15,969	17,098	107.1%
営業利益	504	1,001	198.4%
経常利益	480	932	194.0%
当期純利益	216	600	277.3%

- ビジネス部門の好調に伴い、**売上高は前年比増**
- 利益率の高いビジネス部門の好調により、**営業利益・経常利益は前年比大幅増**
- (株)リンクスポーツエンターテインメント株式売却や(株)リンクアカデミーの教室移転に伴う特別利益増加により、**当期純利益は前年比大幅増**

連結損益計算書（実績 計画比）

単位(百万円)	2015年 実績	2016年 計画	2016年 実績	計画比	前年比
売上高	15,969	16,600	17,098	103.0%	107.1%
営業利益	504	850	1,001	117.8%	198.4%
経常利益	480	-	932	-	194.0%
当期純利益	216	-	600	-	277.3%

- ビジネス部門における利益率の高い「組織人事コンサルティング事業」好調を受け、当初の想定以上に進捗が順調となり、売上は計画比で増、営業利益は計画比で大幅増

連結損益計算書 販売管理費（実績 前年比）

単位(百万円)	2015年 実績	2016年 実績	前年比 増減
販売管理費 合計	4,977	5,209	104.6%
①人件費	2,070	2,395	115.7%
②採用・研修・福利厚生費	249	252	101.0%
③地代家賃	332	332	100.0%
④オフィス・システム経費	503	563	112.0%
⑤販売関連費用	1,034	799	77.3%
⑥交通費等 その他費用	419	498	118.6%
⑦のれん償却費	366	366	100.0%

- 「販売管理費」全体が、前年比微増（増加額：232百万円）
- 「①人件費」が、グループ全体の人員増に伴い、前年比増（増加額：325百万円）
- 「④オフィス・システム経費」が、福岡・名古屋の統合拠点の改裝・移転に伴い、前年比増（増加額：60百万円）
- 「⑤販売関連費用」が、コンシューマー部門における広告宣伝費の効率化に伴い、前年比減（減少額：235百万円）
- 「⑥交通費等 その他費用」が、監査法人変更による一時的な費用増加や株主優待制度の導入に伴い、前年比増（増加額：79百万円）

セグメント別 売上高・売上総利益（実績 前年比）

単位(百万円) ※<>内は売上総利益		2015年 実績	2016年 実績	前年比
ビジネス部門	売上高	12,560	13,744	109.4%
	売上総利益	<4,081>	<5,193>	127.3%
コンシューマー部門	売上高	4,015	3,636	90.6%
	売上総利益	<1,583>	<1,187>	75.0%

- ビジネス部門は、**利益率の高い「組織人事コンサルティング事業」**が堅調に推移し、
売上高は前年比増、売上総利益は前年比大幅増
- コンシューマー部門は、「スクール事業」において、グループ会社間の取引を中止したため、
売上高は前年比減、売上総利益は前年比大幅減

セグメント別 売上高・売上総利益（実績 前年比）※グループ会社間取引を除く

単位(百万円) ※<>内は売上総利益		2015年 実績	2016年 実績	前年比
ビジネス部門	売上高	12,560	13,744	109.4%
	売上総利益	<4,081>	<5,193>	127.3%
コンシューマー部門	売上高	3,532	3,636	102.9%
	売上総利益	<1,100>	<1,187>	107.9%

※グループ会社間取引を除く

- コンシューマー部門におけるグループ会社間の取引を除くと、売上は前年比微増、
売上総利益は前年比増
- 広告宣伝費の効率化なども同時並行で進めることで、引き続き収益力向上に注力

ビジネス部門 事業別 プロダクト売上高（実績 前年比）①・②

プロダクト（単位：百万円） ※<>内は売上総利益	2015年	2016年	前年比
① 組織人事コンサルティング事業	3,622 <1,846>	4,238 <2,846>	117.0% 154.2%
パッケージ	1,301	1,317	101.2%
コンサルティング	1,639	1,911	116.6%
アウトソーシング	412	664	161.2%
データベース	199	214	107.5%
会員サービス	69	131	189.9%
② イベント・メディア事業	1,619 <409>	1,839 <673>	113.6% 164.6%
イベント制作	1,086	1,241	114.3%
メディア制作	532	597	112.2%

- 「①組織人事コンサルティング事業」は、営業力強化をテーマとした「コンサルティング」とび「アウトソーシング」が大きく伸長したことにより、**売上・売上総利益は前年比大幅増**
- 「②イベント・メディア事業」は、「周年イベント」及び「動画配信」といった利益率の高いプロダクトが伸長したことにより、**売上・売上総利益は前年比大幅増**

ビジネス部門 事業別 プロダクト売上高（実績 前年比）③・④

プロダクト（単位：百万円） ※<>内は売上総利益	2015年	2016年	前年比
③ 人材紹介・派遣事業	3,626	3,849	106.2%
	<903>	<878>	97.2%
	2,975	3,168	106.5%
	281	409	145.6%
	322	247	76.7%
中途紹介	48	24	50.0%
④ ALT配置事業	4,829	5,063	104.8%
	<1,281>	<1,355>	105.8%

※ALT…「Assistant Language Teacher」の略で、小・中学校の外国語指導助手のこと。

- 「③人材紹介・派遣事業」は、企業の人材不足を背景に「販売職・事務職派遣」が好調だったため売上高は前年比増、「新卒動員・紹介」の販売を抑え、当社及びグループ各社の新卒採用強化にシフトしたために、売上総利益は前年比減
- 「④ALT配置事業」は、日本の英語教育推進に伴い堅調に推移し、売上・売上総利益は前年比増

コンシューマー部門 プロダクト売上高(構成比 前年比) ⑤・⑥

プロダクト (単位:百万円) ※<>内は売上総利益	2015年		2016年		前年比
	実績	構成比	実績	構成比	
⑤ スクール事業	3,146	-	3,279	-	104.2%
	<946>		<1,085>		114.8%
	Office	1,846	58.7%	1,746	53.3%
	プログラミング	0	0.0%	242	7.4%
	会計	357	11.4%	289	8.8%
	国家試験	237	7.5%	252	7.7%
	公務員	465	14.8%	534	16.3%
⑥ エンターテインメント事業	教材等・その他	204	6.5%	165	5.0%
	学習塾	34	1.1%	48	1.5%
	401	-	365	-	91.2%
	<159>		<104>		65.8%

※グループ会社間取引を除く

- 「⑤スクール事業」は、「Office」から「プログラミング」へのポートフォリオ移行が順調に推移し、「公務員」の好調が「会計」の不調をカバーしたことでの、売上高は前年比増、売上総利益は前年比で大幅増。
- 「⑥エンターテインメント事業」は、プロバスケットボールチームにおけるスポンサー収入の落ち込みにより、売上高は前年比減、売上総利益は前年比で大幅減

連結貸借対照表（実績 前年比）

(単位：百万円)	2015年末	2016年 第2四半期	当期増減
① 流動資産	5,899	6,235	+336
② 固定資産	11,568	12,816	+1,247
③ 繰延資産	6	4	-2
資産合計	17,474	19,056	+1,581
④ 流動負債	8,866	9,923	+1,056
⑤ 固定負債	2,575	2,947	+372
⑥ 純資産	6,032	6,185	+152
負債・純資産合計	17,474	19,056	+1,581

- 「② 固定資産」が、インキュベーション出資先企業の株式評価額の増大、及び福岡・名古屋の統合拠点における改裝・移転に伴い増加
- 「④ 流動負債」が、税金支払や移転費用支払に伴う短期借入金の増大により増加
- 「⑥ 純資産」は、自己株式取得により減少したものの、インキュベーション出資先企業の株式評価額の増大や、業績好調に伴う利益の拡大により増加

2

「業績予想の上方修正」と 「増配」のお知らせ

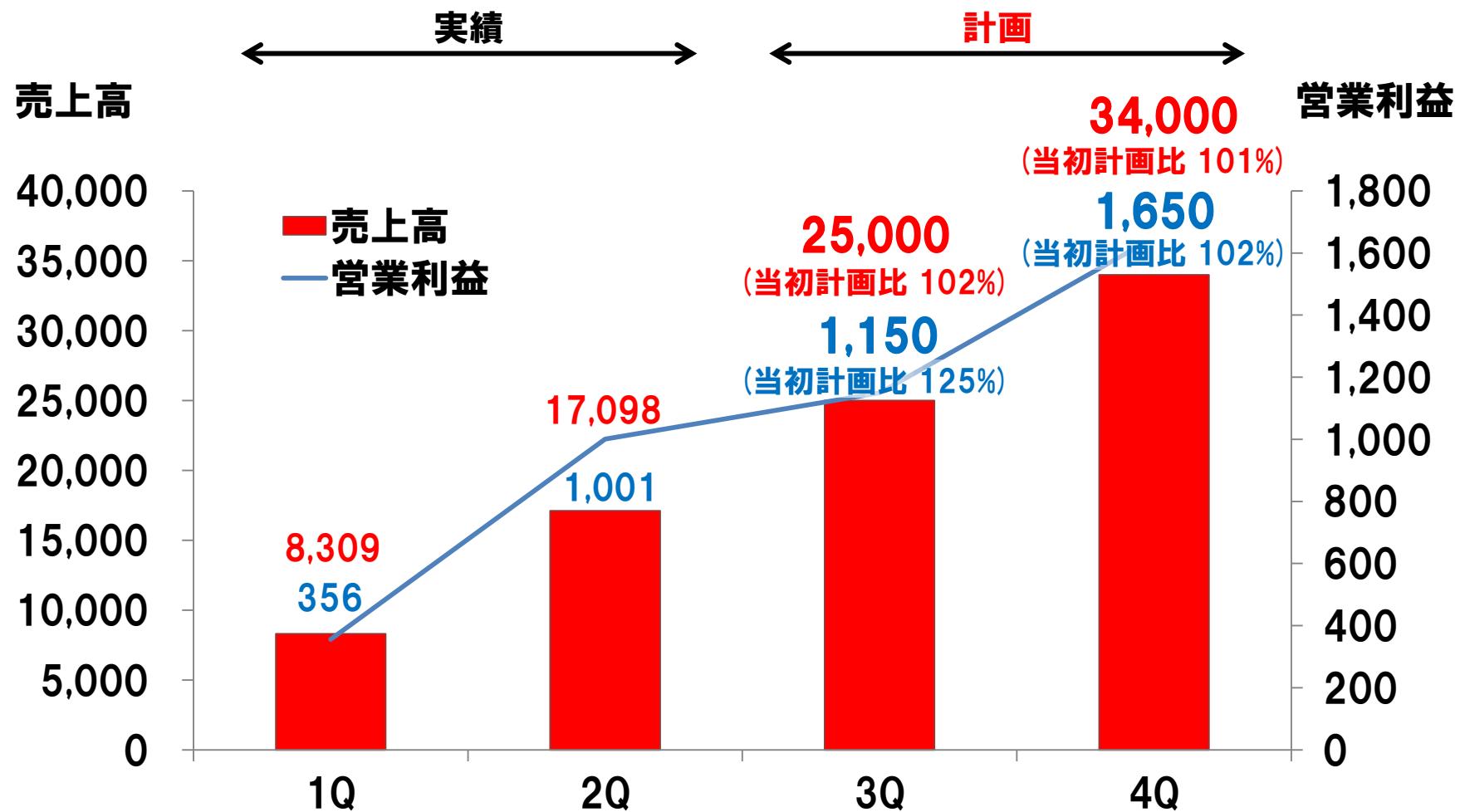


業績予想の上方修正

(単位:百万円)	2015年 実績	修正前		修正後	
		2016年予測	昨対比	2016年予測	昨対比
売上高	31,950	33,600	105.2%	34,000	106.4%
営業利益	868	1,620	186.6%	1,650	190.1%
経常利益	767	1,570	204.6%	1,600	208.6%
当期純利益	▲316	750	-	1,000	(過去最高)

- 上半期の業績進捗が順調に推移したため、各段階において業績予想を上方修正する
- 当期純利益については、特別利益の増加と税金費用の減少により過去最高の1,000百万円に達することが見込まれる

2016年度12月期 売上高・営業利益 進捗計画



- 年間の業績予想を上方修正したことに伴い、年間の進捗計画も修正

● 2016年第3四半期より、年間配当額を60円増配予定

【単元株当たり配当額】

- ・年間 : 500円 ⇒ 560円 (+12%増)
- ・四半期 : 125円 ⇒ 140円 (+12%増)

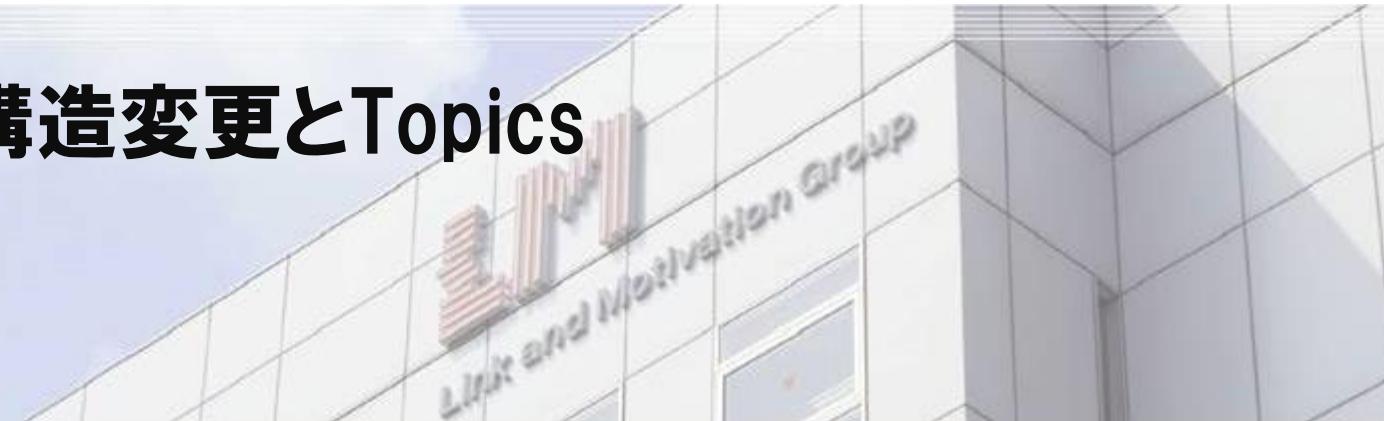
	第1四半期 配当	第2四半期 配当予定	第3四半期 配当予定	第4四半期 配当予定
単元株当たり 配当額	125円	125円	140円	140円
単元株式数	100株	100株	100株	100株

● 2016年第2四半期 配当予定

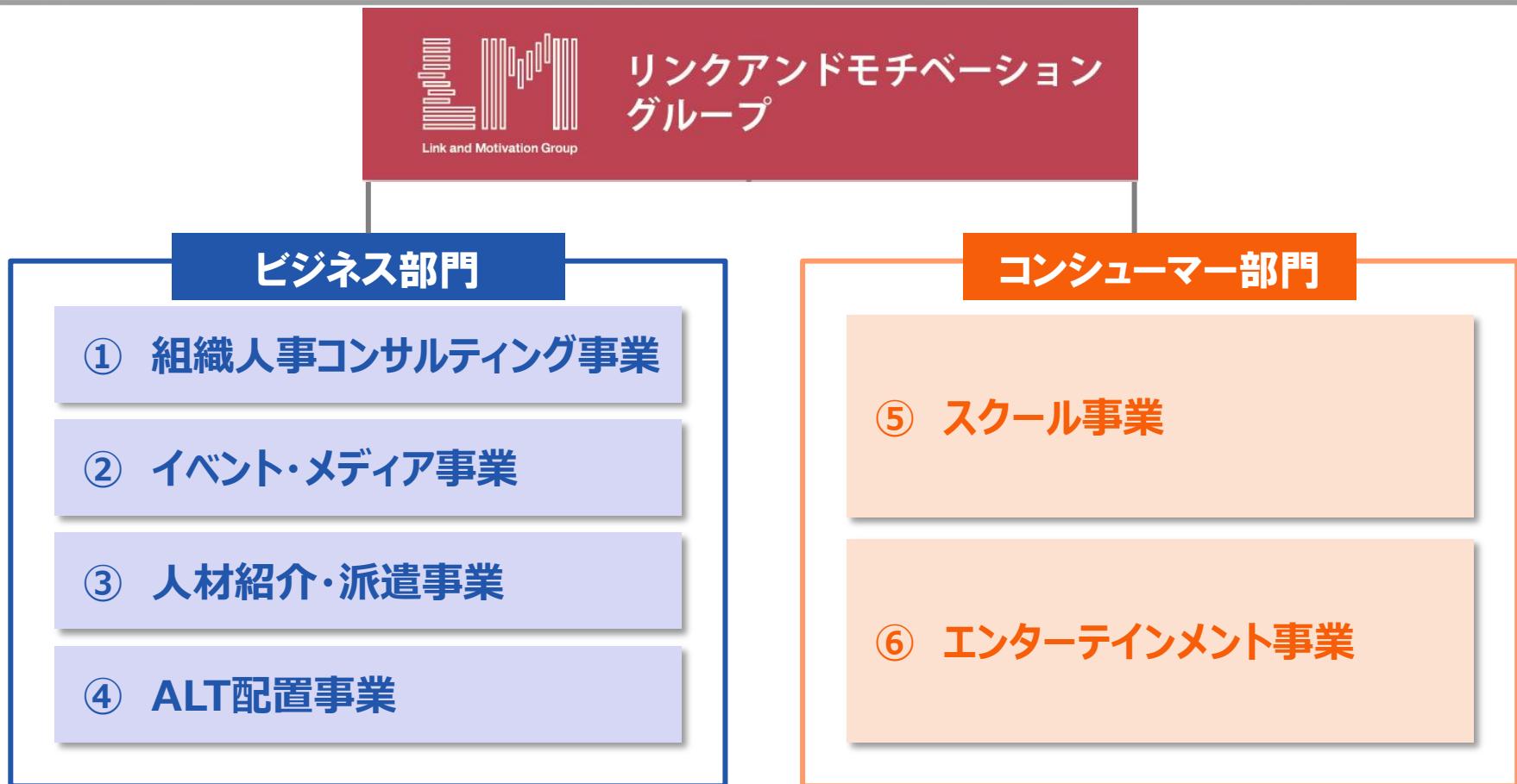
- ・当初予定通り、単元株当たり125円の配当を9月23日(金)に実施予定

3

事業構造変更とTopics



2016年第2四半期までの事業構造



2016年第2四半期までの事業構造



- 連結対象であったプロバスケットボールチームを運営する(株)リンクスポーツエンターテイメントの全株式を2016年6月30日付で(株)栃木ブレックスに譲渡
- 「経営資源の選択と集中」を企図して事業構造を再編

2016年第3四半期からの事業構造

<ミッション>
モチベーションエンジニアリングによって
組織と個人に変革の機会を提供し
意味のあふれる社会を実現する

【I】組織開発Div

①コンサル・
アウトソース事業

②イベント・
メディア事業

売上 9,700百万円

【II】個人開発Div

③キャリア
スクール事業

④学習塾事業

売上 6,800百万円

【III】マッチングDiv

⑤ALT配置
事業

⑥人材紹介・
派遣事業

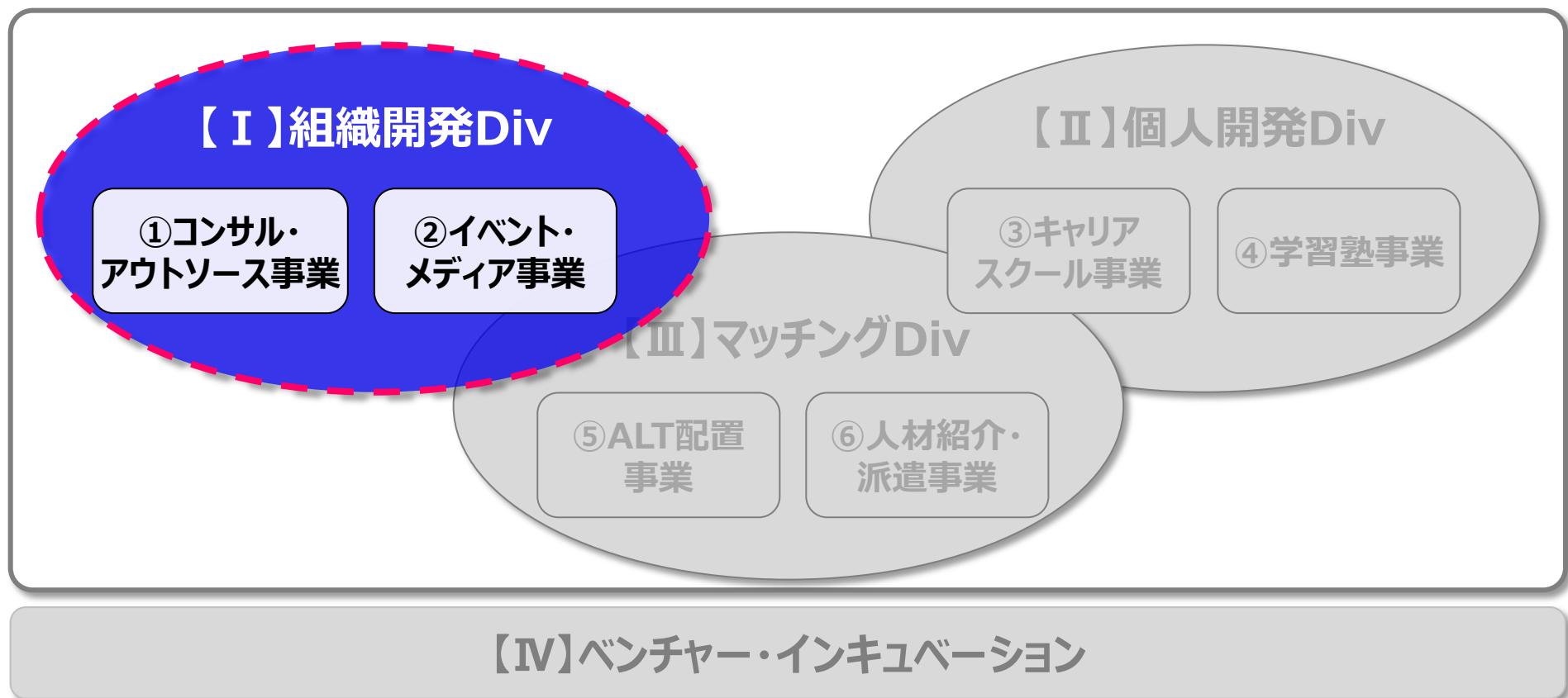
売上 18,200百万円

※売上は2016年の計画を示しています

【IV】ベンチャー・インキュベーション

2016年第3四半期からの事業構造

<ミッション>
モチベーションエンジニアリングによって
組織と個人に変革の機会を提供し
意味のあふれる社会を実現する



国内初の組織改善クラウドである「モチベーションクラウド」を7月29日にリリース。 人工知能による組織データ活用でHR-tech領域へ本格参入

【サービス概要】



MOTIVATION CLOUD

※特許出願中
※今後、人工知能(AI)を搭載

・組織診断

2,350社56万人のデータを元に組織状態を偏差値化。
組織の問題点をあらゆる角度から抽出・分析。

組織状態を示す統一指標：モチベーションインデックス

スコア	33	39	42	45	48	52	55	58	61	67	
格付け ランク	E	D-	D	D+	C-	C	C+	B-	B	B+	A

・組織改善

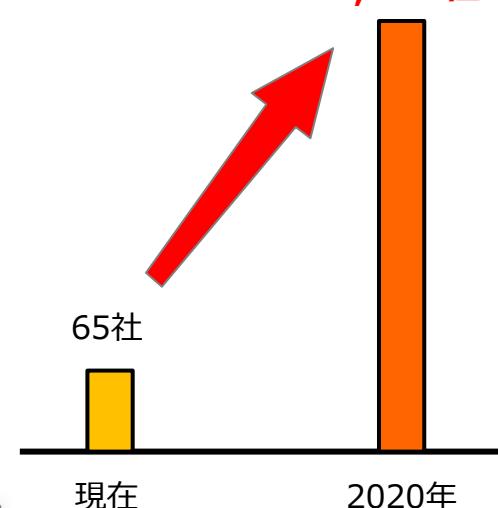
経験豊富なコンサルタントと共に改善計画を立て、組織改善進捗をクラウドで管理



【導入社数計画】

2020年末に、2,000社の導入をめざす

2,000社



- 「モチベーションクラウド」をより多くの企業に提供することで、顧客基盤および組織コンサルティング機会の拡大を狙う
- 今年7月のリリースで導入実績65社。2020年末には、2,000社の導入をめざす

2016年第3四半期からの事業構造

<ミッション>

モチベーションエンジニアリングによって
組織と個人に変革の機会を提供し
意味のあふれる社会を実現する



キャリアスクール事業：「IT人材の育成・就労」の加速

IoT市場拡大による企業のIT人材不足を背景に、
IT人材育成・就労接続を支援する体制を強化

人材育成



出資先である(株)スクーとの共同開発により
ITスキル講座の開発を加速する

ITエンジニア講座

【プログラミング言語】
• Java

【データベース構築】
• SQL

【アプリ開発】
• Androidアプリ

CADオペレーター講座

【設計図作成】
• AutoCAD

※赤字は今年度リリース予定講座

Webクリエイター講座

【Webサイト構築】

- マークアップエンジニア(基礎編)
- マークアップエンジニア(応用編)

【デザインツール】

- Illustrator
- Photoshop
- Dreamweaver
- Web素材
- DTP

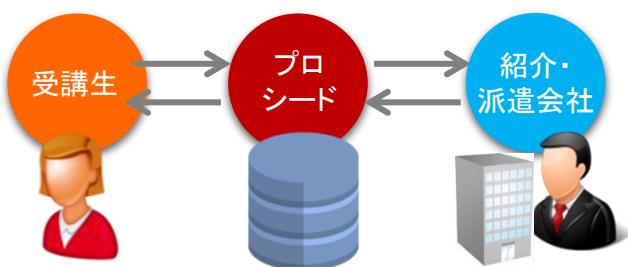
開発パートナー



就労接続



向学心の高い受講生を
人材紹介・派遣会社へ開放し、
IT企業への就業支援を加速する



2017年中に全国106教室で
人材紹介登録免許を取得予定

- 「AVIVA-Pro」は半年で受講生3000名を突破し順調に事業が拡大
- 出資先である(株)スクーとの共同開発により、2016年度中に講座ラインナップを
7講座から11講座に拡充予定
- 向学心の高い受講生と人材紹介・派遣会社のマッチングを行う「PROCEED」の展開を加速

2016年第3四半期からの事業構造

<ミッション>

モチベーションエンジニアリングによって
組織と個人に変革の機会を提供し
意味のあふれる社会を実現する

【I】組織開発Div

①コンサル・
アウトソース事業

②イベント・
メディア事業

【II】個人開発Div

③キャリア
スクール事業

④学習塾事業

【III】マッチングDiv

⑤ALT配置
事業

⑥人材紹介・
派遣事業

【IV】ベンチャー・インキュベーション

ALT配置事業：外国人就業事業の拡大

「ALT配置事業」で培った「外国人就業」に関するノウハウ・アセットを活用し、
ALT配置の更なる拡大に加えて、**ALT以外の就業機会を創出する**

【現在のノウハウ・アセット】

採用力

- ・**年間3万人**の外国人応募者
- ・**世界5カ国**の採用拠点

育成力

- ・**日本語**スキル
- ・**日本文化**適応
- ・ビジネスで用いる**コミュニケーション**

労務 管理力

- ・**国内500人**の労務管理
ソポーター

【ALT以外の就業機会】

英会話スクール



サービス業

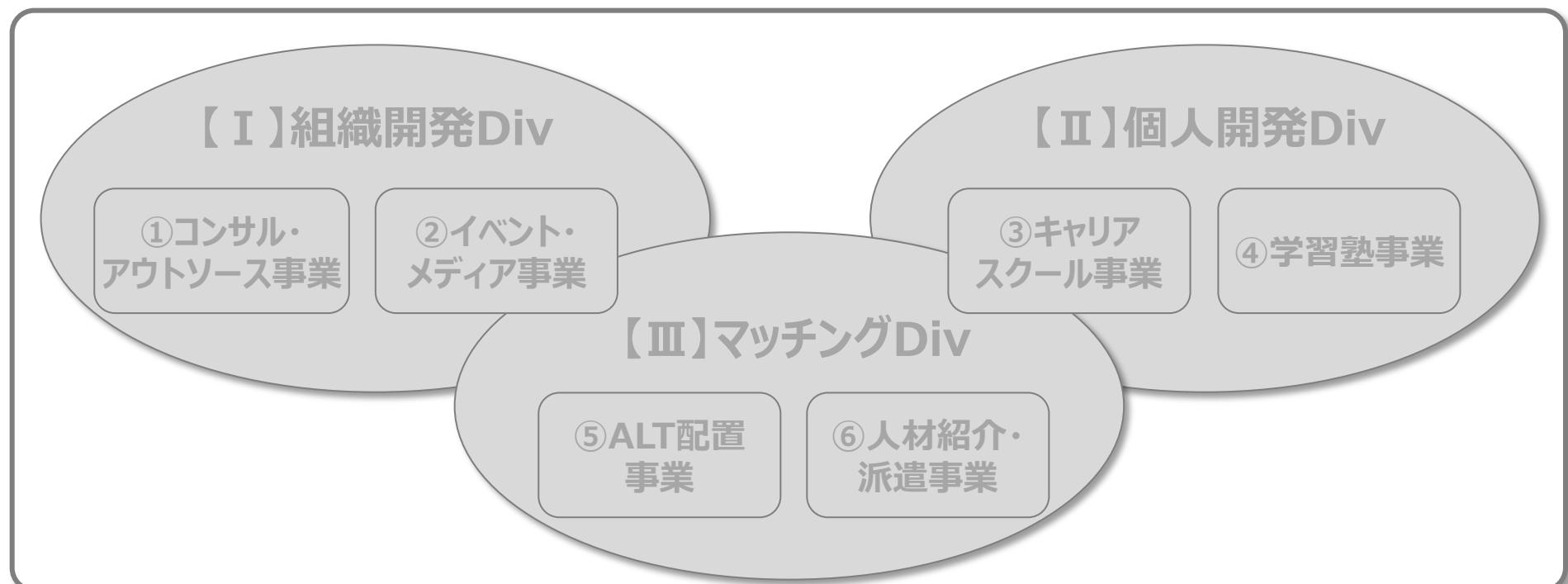


これからの日本における
外国人活躍ニーズにアプローチ

- 2020年東京オリンピック開催を機にインバウンド市場は拡大。
- 日本企業の外国人雇用ニーズの高まりをビジネスの好機と捉え、ALT配置に加え、
外国人就労先を英会話スクールやサービス業へ展開

2016年第3四半期からの事業構造

<ミッション>
モチベーションエンジニアリングによって
組織と個人に変革の機会を提供し
意味のあふれる社会を実現する



ベンチャー・インキュベーション事業 「出資先一覧」

① 株式会社リッチメディア
メディアデザイン/インバウンドマーケティング



② 株式会社フロムスクラッチ
マーケティング支援/技術者派遣



3/17
上場

③ 株式会社アカツキ
アプリ開発/スマートフォンサービス開発



④ 株式会社FiNC
FiNCダイエット家庭教師/ウェルネス経営支援



⑤ 株式会社ネオキャリア
人材紹介・派遣(医療・介護・保育・IT)



⑥ 株式会社リーディングマーク
新卒採用支援/採用コンサルティング



⑦ 株式会社スクー^ー
Schoo Web campus



⑧ ラクスル株式会社
印刷のEコマース/集客支援



⑨ リノべる株式会社
中古住宅のリノベーション

選ぶ・つくる・住む・つながる
リノべる。

⑩ 株式会社LiB
ハイキャリア女性の転職支援



⑪ 株式会社PLAN-B
SEOを軸としたWEBコンサルティング



⑫ 株式会社イノベーション
BtoBに特化したマーケティング支援



⑬ 株式会社ファーストブランド
企業と個人のブランディング支援



⑭ 株式会社ビズリーチ
ハイキャリア向け転職サイト

7/29 出資完了

BIZ REACH

⑮ 株式会社グローバルキャスト
業種特化型BPOサービス事業

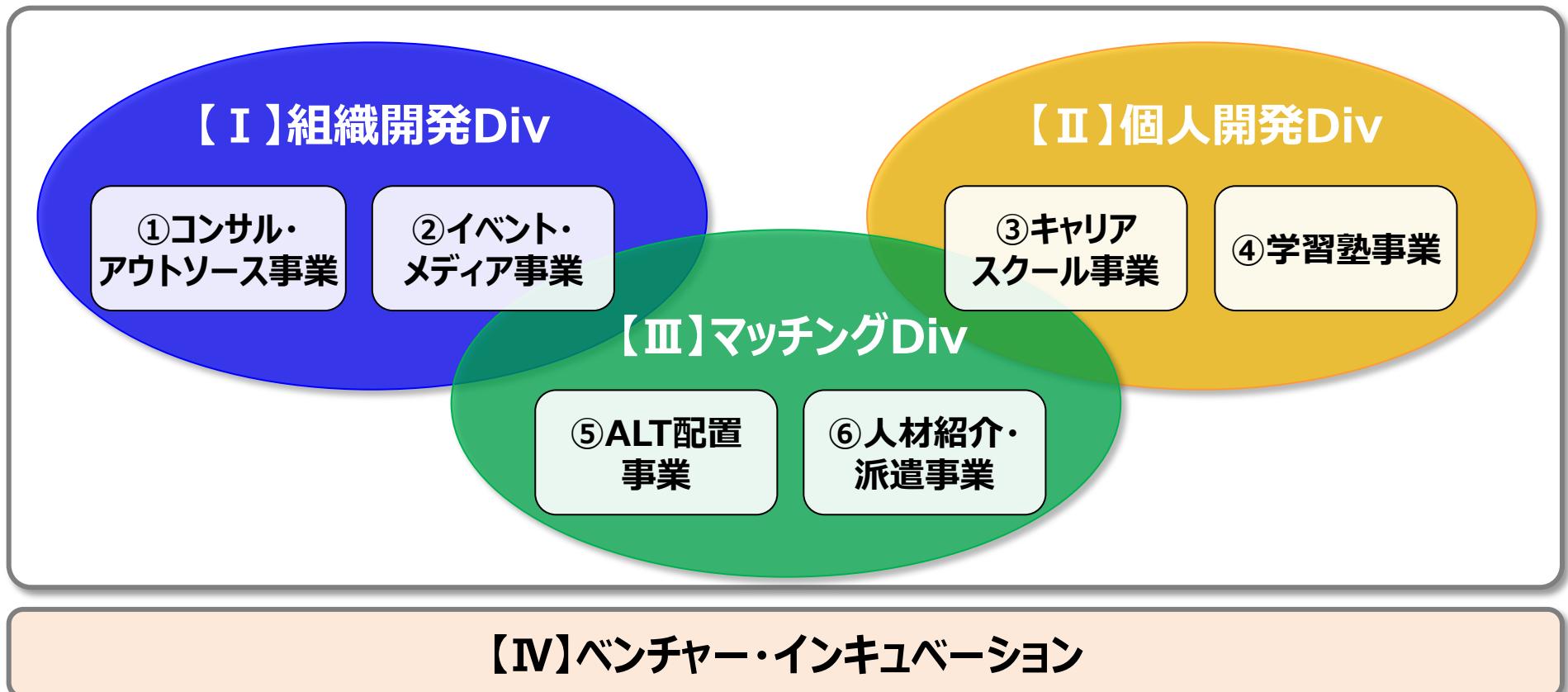


- 選定基準は、「①モチベーションカンパニー創りへの共感」「②上場を目指している」の2点
- 出資比率は、「3~10%」を目安に出資 ● 組織人事領域のサポートで、事業拡大に貢献
- 7月29日に、(株)グローバルキャストへの出資完了

2016年第3四半期からの事業構造

<ミッション>

モチベーションエンジニアリングによって
組織と個人に変革の機会を提供し
意味のあふれる社会を実現する



株式会社リンクアンドモチベーション

2016年12月期 第2四半期

決算説明会

ひとりひとりの本気がこの世界を熱くする



Link and Motivation Group

